

# 保有技術を活かし生活総合クリーニングへブランド化を図る

会社名 有限会社本家仕上屋  
 所在地 秋田県湯沢市湯の原1-2-6  
 従業員 13名  
 資本金 300万円  
 売上高 6,500万円  
 業種 クリーニング及びレザーメンテナンス

感動品質のクリーニング&革製品リペア

## 仕上屋工房

### 支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 3年後、新たに立ち上げた事業の売上2,000万円となり、売上計8,000万円まで生活総合クリーニング会社を成長させたい。
- 独自技術をノウハウとして秘匿化・活用して、洗浄対象を拡大し、生活総合クリーニング会社として、ブランド化を図る。

### 支援を受けてできるようになったこと

After

- 補助金を活用し新設備を導入して、対象物に寝具・インテリア等を加えて、店舗リニューアルに当たり、「あなたの大切なものを感動品質で甦らせる」をブランドコンセプトとする方針を定め、従業員と共有し、会社全体の活動として開始できた。
- 洗浄条件等の保有技術のなかに、差別化ポイントがあることに気づきがあった。

### 今後の事業展開の展望

Future

- 限られたリソースを効果的に活用して、『感動品質』をキャッチフレーズとして、情報発信力を強化して生活総合クリーニング会社としてブランド化を図る。
- 保有技術を深掘りして、効果検証や差別化ポイントの特定を進め、秘匿管理するか、または出願して権利化するかを検討し、知財面からの強化を図る。

## 加速的支援を受けた事業や商材

独自技術(衣料洗剤、皮革類除菌法等)による優れたクリーニング・しみ抜き・除菌等のサービス提供し、顧客より高く評価されている。

「町のクリーニング屋」から寝具・インテリア・住宅関連等を含む「生活総合クリーニング会社」として事業を拡大したいとしている。



ゴルフのあと、そのままバッグにしまっていたら変わり果てた姿に…。マーカのサビと汗ジミが新品のように白く綺麗に！



## 加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
ビジネスモデル確立のうえ、事業戦略の構築	既存事業に加えて、対象物が異なる事業を加えたビジネスモデルを検討したうえで、実行可能な事業戦略等を構築する。
保有技術の有効性等の確認	独自技術に関して、客観性のある効果・検証データを取得する。
ブランディングと顧客開拓(マーケティング)の方針決定	ブランディングと顧客開拓の取組み方針を明確にする。
保有技術の知的財産としての取扱いの方針の明確化	独自技術をノウハウとして秘匿化の方針を確認して、適切な対応を取る。
契約に関する知識と対応能力の向上	契約に関する知識と的確な対応能力を向上させて、ビジネスモデルを踏まえて適切な契約を締結する。
内部体制・規程の整備	最小限度必要な営業秘密の保護・管理体制作りのキックオフを行う。



## 加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
ビジネスモデル確立のうえ、事業戦略の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金を活用し新設備を導入し、対象物に寝具・インテリア等を加えて、今年春店舗リニューアルする状況を踏まえて、強みを確認のうえ、事業戦略等を立案した。</li> </ul>	中小企業診断士
保有技術の有効性等の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客に「黄ばみ防止」、「シミ抜き」、「こだわり仕上げ」等の差別化された価値が認知されていることが確認できた。</li> </ul>	中小企業診断士 弁理士
ブランディングと顧客開拓(マーケティング)の方針決定	<ul style="list-style-type: none"> <li>「あなたの大切なものを感動品質で甦らせる」を顧客への提供価値とするブランドコンセプトを定め、ブランド名として「仕上屋工房」を使用する方針とし、商標登録出願を行った。</li> <li>SNSの考え方や手法の支援がなされ、情報発信に反映された。</li> </ul>	ブランド専門家 Webマーケティング専門家
保有技術の知的財産としての取扱いの方針の明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>汚れの判別、素材及び汚れの種類に応じた洗浄条件の管理が業務のなかで着実に実行され、差別化につながっている。</li> <li>保有技術に関して、当面はノウハウとして秘匿する方針とした。</li> </ul>	弁理士 洗浄技術専門家
契約に関する知識と対応能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロゴマークに関して、デザイナーへ委託する可能性があり、著作権、知的財産の留意点について認識を深めた。</li> </ul>	弁理士
内部体制・規程の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>保有技術の差別化ポイントを特定した後、ノウハウとして秘匿化、または出願して権利化するかについて検討を行うこととなった。</li> <li>店づくり活動の全体戦略を従業員と内容を共有し、その推進に向けての自発的な行動につながるよう意欲を引き出すことができた。</li> </ul>	弁理士 ブランド専門家

## 支援チーム紹介

主担当専門家: 中小企業診断士 東條 寮、事業戦略等専門家 吉栖 康浩

活用専門家: 弁理士、Webマーケティング専門家、ブランド専門家、洗浄技術専門家

知財総合支援窓口担当者: 秋田県知財総合支援窓口 伊藤潤子

PO(プログラムオフィサー): 今村孝